



コロナ禍における婚活と結婚について

リクルートブライダル総研が実施した婚活実態調査2020によると、新型コロナウイルス感染拡大により元々恋愛・結婚の意向があった独身者において恋愛・結婚の意識が更に高まった人の割合が約4割との調査結果が報告されています。

この報告から新型コロナウイルスによる影響は人と人との距離を広げ、断絶の様相を呈する中で、人恋しさ、人と過ごすことの尊さを再考させる機会となり結果的に恋愛・結婚の意識の高揚が起っているのだと推察されます。

自治体主催の婚活を調べてみました。47都道府県、20の政令市など全ての自治体で行われており、少子・高齢化の社会、更には結婚離れの世相に相まって期待感を持って実施されています。

婚活の現状を見るに、恋愛・結婚意向のある独身者の4人に1人が婚活サービスの利用経験があり、ここ数年増加傾向に有るようです。特筆すべきは対面での婚活に加えて、ネット系オンライン婚活が日本全国で行われており、この手法が婚活サービス全体を底上げし、出会いの手法としても定着しつつあるようです。コロナ禍の中、感染リスクの無い自宅で個人として参加できる安心感とその利便性から増加傾向に有るようです。

本県でも2005年以来大変多くの福岡県出会い結婚応援事業が行われており様々な出会いが展開されています。これまでに、この事業によって本年3月31日現在536組が成婚していることを知り、うれしくも有り関係する部局の皆さんの努力に敬意を表したいと思いました。そこで九州内の自治体では本県の取り組みは特筆されるものではありませんが、今後婚活が増々重要になる



との視点に立って、どの様に進化させていくのか知事の考えをお聞かせください。

次にオンライン婚活に関してお尋ねします。

ネット上のオンライン婚活は福岡県内には沢山あります。

あるサイトでは11月・12月の2ヵ月間で福岡県内に於いて60回を超えるオンライン婚活が計画され実施されています。婚活メニューの中にカップルの発表在りとの表示は確認できるものの、成婚事例はあるとは思いたいのですが閲覧のみのサイト訪問者である私には確認ができませんでした。

東京都は結婚支援ポータルサイト「TOKYO ふたり STORY」を展開する中でオンラインふれあいの会を開催しています。一回の募集定員は男女それぞれ5名程度で会費4000円(会員の場合3000円)で開催し開催後イベント開催レポートをネット上で公表し、カップルの誕生数を公表しています。

私は出会い結婚応援事業は参加者を増やすためには成果が大事だと思っています。東京の結婚支援ポータルサイト「TOKYO ふたり STORY」ですが例えば「お蔭様で1組のカップルが誕生致しました」といったホットなレポートがされていて、とても好感が持てました。オンライン婚活に興味を持つ人達にとってもカップルの誕生は良い刺激になると思います。

コロナ禍におけるオンライン婚活は出会いの手法として今後ますます注目されると思いますが、知事は如何お感じでしょうか。私は安全・安心を確保しつつ本県の出会い結婚応援事業のカリキュラムの一つとして考えてみてはどうかと思いますが合わせてお聞きします。

次に結婚式について伺います。新型コロナウイルスの感染の収束が見通せない中、今年結婚を予定していた多くのカップルが結婚式を延期したり断念といった状況が日本中で起こっている様です。

「日本ブライダル文化振興協会」が実施したアンケートによると感染が拡大した今年3月頃から延期や中止となった結婚式は推計でおよそ17万組に上り、予定されていた結婚式の半数以上に影響が出ているようです。

私は先日リクルートの方と話をする機会を得ました。

新型コロナウイルスの感染拡大による福岡県内の結婚式への影響は前年と比較して5月は0.8%の開催に留まり、その後、徐々に回復し直近では45.8%まで回復をしたことを聞きました。但し一旦は回復傾向が示されたものの、

第3波の発生により今後の状況を大変危惧しているとの事でした。

結婚式は、新郎新婦が新たな人生のスタートにあたり幸せになるための宣言をする場であり、お世話になった人へ感謝を込めてお披露目する場でもあり、結婚する二人を心から祝福する場所でもあります。私の知人の娘さんも結婚披露宴を一旦は延期をされましたが最終的には断念され、双方のご家族だけで少人数で行われました。結婚披露宴は格別のものだと思いますが知事はコロナ禍に於ける結婚式・結婚披露宴をどの様にお考えでしょうかお聞かせください。

報道によると全国的に消費生活センターには3月以降、結婚式の延期や中止をめぐる相談が急増し、挙式をキャンセルした際に、高額の解約料を請求されたという相談も相次いでいるということです。

本県も同様の状況と思いますが県内の消費生活センターの相談状況について説明を求めます。

リクルートの方から本県のブライダル市場は約540億円規模であることをお聞きしました。ブライダル業界は業種のすそ野も広く結婚式が行われないことで多方面に影響が出ている様です。食品関係・酒類関係・ドレス・ヘアメイク・エステや美容関係・専門撮影業者・音響や映像に関係する業者・司会者等々業種のすそ野は広く、これから数か月以内に挙式を予定していたカップルがことごとく予定をキャンセルすれば、主に小規模事業者や個人事業者からなるブライダル業界にとっては致命的な打撃になることが予測されています。

ホテルや専門の式場はブライダル業界のガイドラインに従いコロナ感染対策を行っていますが、結婚披露宴は世間の三密を避けたいことから敬遠される風潮があると思います。コロナで結婚式を躊躇する方々に対して背中を押して挙げる様な結婚披露宴を大なり小なり開催出来る様、県としての取り組みを期待します。知事の考えをお聞かせ下さい。

【小川知事の答弁】

◆ 出会い・結婚応援事業の進化について

本県では、平成17年度から独身者の出会い・結婚を応援する企業・団体を「出会い応援団体」として登録し、団体が実施する出会いイベントをメール

マガジン「あかい系めーる」等で広く周知することで若者に出会いの場を提供してきました。

「出会い応援団体」については、これまでに企業、農協、漁協、保育所、医療機関など従業員の結婚を応援したい様々な団体に登録いただき、11月末現在、2,019団体となっています。

これまでの出会いイベントは、主に個人を対象に参加を呼びかけ実施してきましたが、今年度から、こうした多くの出会い応援団体間で合同イベントを開催できるよう「企業・団体間マッチング支援センター」を設置し、新たな出会いの拡大に取り組むこととしました。

今後、センターにおいて、県内各地域の企業や団体に働きかけ、異業種間の交流イベントの拡大を図ってまいります。

◆コロナ禍におけるオンライン婚活について

本県では、緊急事態宣言下の今年5月からオンラインを活用した出会いイベントを試行し、7月から本格的に、「出会い応援団体」にその取り組みを広げており、これまでに計17回開催し、152名が参加されたところです。

また、こうしたオンラインの出会いイベントの参加者を支援するため、WEB会議システムの操作方法やオンラインイベントにおける心得を解説するセミナーを開催しています。

さらに、イベントを主催しようとする出会い応援団体に対しては、オンラインイベントの実施方法を紹介する動画の配信やイベント補助オペレーターによる支援を行っているところです。

オンラインを活用した出会いイベントは、コロナ禍に対応した感染防止対策の観点だけでなく、広域での出会いの機会の創出といった観点からも、新たな出会いの形として有効であると考えており、県としては、今後とも積極的にこれに取り組んでまいります。

その際、個人情報との関係もありますが、どういう形で遡求していくのか、色々と工夫し考えていきたいと思えます。

◆コロナ禍での結婚式、結婚披露宴に対する認識について

結婚式、結婚披露宴は、新しい人生の門出として行う大切なイベントの一

つです。

コロナ禍においても、会場を広くして座席の間隔を広くしたり、参加者を分けて二部制で行ったりと、様々な工夫を凝らして実施されている方もいらっしゃると思います。

このように「新しい生活様式」に対応した感染防止対策を実践することで、コロナ禍においても希望する方が結婚式、結婚披露宴を実施できることは、御本人の人生にとって、非常に重要な意味を持つものと考えています。

◆結婚式の解約に関する相談について

県や市町村の消費生活センター・相談窓口には、「新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず結婚式の解約を申し出たが、キャンセル料を請求された。」といった相談が、先月末までに約180件寄せられています。

一般的な契約では、天災等により会場が使用できない場合を除き、キャンセル料については、当事者間の契約の定めに従い消費者が負担することとなることから、消費生活センター・相談窓口では、まずは契約の内容をよく確認するよう説明しています。

その上で、日本ブライダル文化振興協会のように、コロナ禍における日程変更の場合、「キャンセル料は実費のみ」「キャンセル料相当額は全て延期時に充当」といった対応を基本とするよう、会員企業に対して呼び掛けているケースもあることから、必要に応じて結婚式場と話し合うよう伝えています。

◆コロナ禍における若者の結婚式、結婚披露宴を支援する取り組みについて

コロナ禍においても、感染防止対策を徹底した式場での開催はもとより、オンライン結婚式や屋外での開催などといった新しい形の結婚式、結婚披露宴が実施されています。

県としては、こうした情報を県の結婚応援ホームページやメールマガジン「あかい系めーる」で広く情報発信してまいります。

また、今後、出会い・結婚応援事業で出会い、結婚する方に対する、結婚式場の割引などの成婚特典の提供をブライダル業界等に積極的に働きかけ、結婚式や披露宴の開催の後押しを図ってまいります。